

凜とした美しきまちに!!

唯一無二の施策でオンリーワン都市へ

若年層の定住・回帰なくして市の発展なし!

当市は、少子高齢化に伴う人口減少が加速度的に進んでおり、様々な分野に深刻な影響を及ぼし始めています。当市の成長と市民の「夢」「希望」「期待」の実現には、若年層等の定住、移住者の増加は絶対条件と言えます。なぜか、「地域・まちづくり、福祉・医療、教育、農・商・工」などなど、若年層等の減少がもたらす弊害は計り知れません。それじゃ今何をすべきなのか。一刻も早く、若年層等が当市に住みたくなる環境を整えることが極めて重要です。



上越市議会議員 丸山 章

**4本柱が融合することで
大きな効果をもたらし、
様々な分野の課題が改善、解消へ!**

不退転の決意で

起死回生の策 〈対策4本柱〉

観光振興

①「日本桜庭園・上越」を築く H31.3・R7.3 議会で提言

「当市の自然景観は正に日本庭園そのものといえます。」高田平野は、関川とその支流からなる複合扇状地であるうえ、地形や山(妙高連峰、関田山脈、名峰「米山」)、海等、豊かな自然と日本三大夜桜と称される高田城址公園の「桜」という観光資源が織りなす特徴ある素晴らしいロケーションは圧巻そのもの!桜の付加価値を高めることで当市の魅力を際立たせていく。さらに、春日山城、雁木町屋の街並みの形成及び寺院群等の豊富な観光資源を複合的に絡み合わせ、それぞれの持ち味を高めつつ、将来にわたり当市全域を日本桜庭園化し、世界に誇れる「黄金の都市」づくりを目指します。市民の手づくりによる観光資源の創出は、究極の地域・まちづくりにつながるもので、まちづくりの原点です。しかも日本・世界でこうした試みはないと思われることから特徴づけられ、その波及効果は極めて大きく話題性、注目度も加速します。

コンセプト

1. 市民の手づくりによる観光の核(土台)となる「日本桜庭園上越」を築き、新たな観光資源を世界に通用するレベルまで磨き上げる。
2. 魅力を高め、国内及びインバウンド(外国人)客を呼び込み、市内経済の活性化並びに移住定住者等の増加をめざす。

成功へ導く具体策

「日本桜庭園・上越」の姿

1. 高田城址公園の桜(ソメイヨシノ)に特化して、挿し木、接ぎ木により同じ遺伝的性質を持った苗木を増やす。それを各戸(世帯)、協力機関等から低額(1本500円程度)で購入していただき大切に育てていただく。植える場所がない場合は、鉢植えで参加していただく。
2. 協力機関ごとに協議のうえ、植栽可能地に桜を植えていただく。
3. 植栽面積、本数ともに、日本・世界に類を見ない規模に! まずは10万本目標!!
4. 並行して他の観光資源の魅力を向上させ、ストーリーを仕立てていく。
5. 観光の軸となる「しっかりした幹」に、しなやかな枝(様々な観光資源)を配し、話題性、関心度、注目度抜群の観光都市をめざす。

期待される効果

1. 「日本桜庭園・上越」の呼称が計画等に反映され、市民の認識が深まり意識統一が図られる。
2. 市民の方々の更なる自信と向上心の高まり。
3. 愛着や誇りを抱ける地域づくり
4. 当市の知名度、ポテンシャルの向上。
5. 県内外、外国人客の誘客やリピーター増につながる。
6. 他の観光資源への波及・相乗効果、移住定住者の増加、市内経済等の活性化・発展が望める。
7. 多種多様なジャンルでのブランドづくりにつながることを期待できる
8. 上越市のネームバリューを高めることにより上越市の認知度が上がるとともに、各分野の様々な政策(施策)でも効果が期待できる。

管理等

1. 病気対策・土壌調査、苗の育て方(方法)等について管理組織(組合等)を立ち上げる。
2. 30年から40年後、世界遺産登録を見据える。

城下町・昭和の風情を体感できるまちに!!

2 「町家・雁木を活かしたまち」を築く

R3.3 議会で提言

高田区

観光振興を推進するうえで、インバウンド及び若年層等を意識することはとても重要です。費用対効果を高めるために独自のテーマを設定するとともに、城下町・昭和の風情を体感できる雪国の町家・雁木を活かしたまちづくり」に特化した特色ある「上越ブランド」を構築します。

前提

1. 観光資源としての魅力と歴史的・文化的価値を有する財産（宝）である町家・雁木の特徴を守る。
2. まちの将来の姿に対する市民の合意形成を図る。

期待される効果

1. まちの賑わい創出・イメージの一新、国内外の観光客の増加、人口減少の抑制、市民の自信と誇りの醸成等である。
2. 市民と歴史文化を大切にしたい個性あるまちづくり、魅力に富んだ中心市街地に仕立てつつ、当市が抱える課題の改善、他施策への相乗効果・波及効果にもらむ。

成功へ導く具体策

1. 「町家・雁木保全条例」を制定し、町家雁木のリノベーション等に対する補助制度を創設する。
 - ①補助の適切な制度設計を行う。（補助額上限 300 万円～ 500 万円程度を想定）
 - ②年 10 棟程度を見込む。
2. 「歴史的・文化的価値を有するまち並み」にする。
誰もが安全で暮らしやすい特徴ある新たなまちづくり。

“まちの姿” キャッチコピー
「ほっと一息つける・心が和むまち」
「ふと振り向いてしまう・心地よい生活空間」

「ほっと一息つける・心が和むまち」とは

町家の住環境の質を高めることを基本に、町家カフェ等のお店で、食事やお茶、買い物、よもやま話など、安らぎと暮らしやすさ、歴史文化の味わいを肌で感じられる環境へ導いていく。

「ふと振り向いてしまう・心地よい生活空間」とは

芸術家（絵画・音楽・陶芸等）を目指している人たちが居住・活動・飛躍できる環境を整える。そして、訪れる人たちが「ほんもの」の魅力、奏でる音楽や芸術文化に親しめるとともに、気楽に立ち寄れるスポットへ導いていく。

素材を活かした独創的なまちに!!

3 「オーシャン・ヒストリーロード」を築く

R5.3 議会で提言

直江津区

直江津区は、高田区と同様に対外的な認知度は他地域に比較して極めて高く、この地域存在感をさらに向上させるため、素材を活かした特徴のあるまちづくりを目指します。

キーワード 歴史文化、海、夕日

コンセプト 「オーシャン・ヒストリーロード」に歴史文化・海&夕日をテーマとした直江津の特徴・素材を生かした整理された美しいまち並みをつくる。美味しい食材（地魚・お米等）と地酒をとことん味わっていただくとともに、上越（直江津）ならではの風情に浸っていただく。

期待される効果 1. 国内外の観光客の増加、宿泊観光（市内経済の活性化）へ導く。
2. 移住定住、市民の更なる向上心の醸成。

位置 うみがたりから安国寺通り（県道直江津停車場線）を経て直江津駅までの約 1 km。

成功へ導く具体策

1. オブジェ及び街灯の設置：うみがたりに展示している魚類のオブジェ及びコンセプトに沿った街灯を設置し、夕日にちなむ色合いでまちを照らし、「オーシャン・ヒストリーロード」を特徴づける。
 - ① オブジェ：数十体 ② 街灯：数十灯
2. 町家等の改修：昭和（町家）の風情を復活させる。
3. 道路色：ブルー又はオレンジ色に統一
4. 無電柱化：約 600mの直線
5. 歩行者天国：県と協議の上、やすらぎ（歩行者）天国を設ける。将来、県道移転を視野に、歩行者専用（優先）道路（約 600mの直線）とすることを検討する。

唯一無二の遺産を創る!!

4 「上杉謙信公の居城復元」

R6.3 議会で提言

春日区

日本はもとより世界に通用するメジャー級の歴史的戦国武将・上杉謙信公の遺構となる居城の価値ある復元は、えちご上越の名声を高めるうえ、訪れた人たちから遺徳を肌で感じ、想像を膨らませていただける。歴史的文化的資産は、当市の観光資源の魅力をブラッシュアップさせることにつながることから、居城の復元の意義は極めて大きいと言えます。

基軸となる10

観光振興のねらい

当市が持ち得る様々な素材の魅力を向上させるとともに、佐渡市と観光コラボすることで、世界遺産「佐渡の金山」に訪れた国内外の観光客の誘客・増加が見込める。さらに、市内経済にも恩恵をもたらすことが期待できるうえ、若年層等のU・I・Jターン、定住へと導く。

少子化抑制

「妊娠から子育て」ワンストップ対応!!

5 「ママ・パパ子育て応援ハウス」設立

R2.12・R7.3 議会で提言

共働き夫婦の増加に伴い、父親の育児参加も増えているものの、家事や育児等における母親にのしかかる負担はまだまだ大きいという、ひとり親家庭の親の負担はさらに大きいといえます。子供の病気対応や仕事の調整、睡眠不足等、親の心身の疲労の蓄積は様々な病気のリスクを高めるほか、夫婦間の亀裂の一因にもなりかねないことから、こうした状況を改善させる手厚い支援が必要であります。子育て支援の内容を充実させることにより、共働き夫婦、ひとり親世帯の利便性を向上させるとともに、安心安全に子育てできる環境を整えることは欠かせません。

成功へ導く具体策

1. 当市は、広大な面積を有することから、南北の適切な場所に 1 か所ずつ設置する。
2. 既存のファミリーサポートセンター、ファミリーヘルプ保育園、子育て世代包括支援センターを一体にし、かつ両施設で対応できなかった支援にも対応できるようにする。
3. 生後 8 週間から就学前までの乳幼児を保護者が通勤時に「応援ハウス」に預けた際、以後の保育や各保育園への送迎は全て「応援ハウス」で対応する。
4. 子育て世代が求める時間の融通を可能にすることや、利用時間の拡大、要望・希望を極力叶える等、共働き世帯・ひとり親世帯の負担軽減を図る。
5. ワンストップで妊娠から子育てに関する事案に対応できる相談窓口を併設する。
6. こどもの情操教育やまちづくりへの貢献等、一挙両得の効果を狙う観点から空き町家等を活用する。

“安心安全” 幸せづくりサポート!!

少子化抑制に密接に関係する入り口部分の施策にスポット

6 「縁結びボランティアセンター」設立

H30.12 議会で提言

今、生涯未婚率の上昇が社会課題になっていることから、多くの自治体で対策を講じていますが、当市は県や民間任せで具体的な取組は行っていません。未婚率、晩婚率の上昇により少子化に拍車がかかり、若年層の人口減少はすでに様々な分野に影響を与えていることから、少子化対策に密接に関係する入り口部分の政策（施策）を講じることが極めて重要です。

ポイント

1. 急速な未婚化の進行は、大きな社会課題として認識を深めなければならない。
2. 行政が行う婚活事業は、参加者に安心感・信頼感があるといわれることから、会員増や成婚率を高めていくことが期待できる。
3. 若い労働力の確保の観点から企業・団体等へ縁結びの協力を依頼する。
4. 男女のコミュニケーション不足等、「人づくり・自分磨き」の場とする。

成功へ導く具体策

1. 世話好き・善意の方々に縁結びのご協力を依頼。個人登録制による有償ボランティアとする。
【処遇】①通常の費用弁償等なし
②成婚報酬 50,000 円程度／1 組成立
2. 縁結び相談所の設置とアドバイザー制度の導入。
3. 未婚男女の登録
 - ①会員登録は全ての国民を対象とする。
 - ②会員登録・相談・アドバイザー・紹介等に関する費用は無料とする。
 - ③可能な限り民間の結婚相談所等との連携を図る。
4. 人工知能（AI）、ビッグデータ技術システムの導入。
5. 他自治体、企業、団体等との協力。

少子化抑制のねらい

若年層等の安心・安全な出会いのサポート体制を整えるとともに、子育て世代の共働き夫婦、ひとり親家庭が安心して子育てできる環境を整え、生活をエンジョイできるまちへと導く。

本の政策(施策)

移住定住

中山間地域 危ない このままでは!!

7 13区に「未来創生スペシャルセンター」設立

R6.12 議会で提言

新上越市の誕生から本年 20 年目に入りましたが、この間、特に中山間地域の人口減少と少子高齢化は想定以上に進んでしまいました。「空き家が増え、人も減って困る。我々の区を何とかしてほしい」との切実な声を聞くと胸が締め付けられます。俯瞰的政策(施策)が無いなかで、時だけが過ぎた感はありません。自然環境を守っている中山間地域は、下流域(平野部)の住民の生活環境を整えることや田園地域に有形無形の恩恵を与えている側面もあることから、相互補完の関係性を保持しつつ、維持、向上、発展は欠かせません。中山間地域等の改善には、効率的かつ効果的な政策(施策)は不可欠であることから、総合事務所の抜本的見直しとともに、現まちづくり振興会等を統合し、市民と行政の「協働」によるまちづくりが力強く推進できる体制を整えることが重要です。

成功へ導く具体策

時代が求める体制へ

地域づくりの原点は、地域に住んでいる人たちが、支え合い、創意工夫をしながら地域の魅力等を高めるとともに、安心・安全に暮らし続けられる生活環境を整えることといえる。時代に対応できる機動性のある組織の構築が決め手になる。

組織機能 業務内容

1. 地域と行政の協働による地域づくりを推進する。
2. 地域ビジョン、戦略、戦術を策定する。
3. ワンストップ機能を持たせる。
4. 地域づくり等が効率的・効果的に推進できる体制にする。
5. 行政職員の持つ知見、知識を地域づくり等に活かす。
6. 課題である人材不足の弊害を改善させる。
7. 若年層から高齢層に至るまで、安心安全に生活できる環境へ導く。

組織改編

1. 3 区(柿崎区・浦川原区・板倉区)を集約先支所とし、10 区を支所とする
2. 現まちづくり振興会等
 - ①新組織「未来創生スペシャルセンター」に移管する。
 - ②現職員は新組織に移管する。
 - ③財産に関しては、現状用途を遵守しつつ地域づくり等に活用する。

未来創生スペシャルセンターの姿

13 区それぞれに、特徴ある地域ビジョン(未来像)をつくりあげ、課題の改善・解決に向け施策を推進する特別な館とする。

- ◆組織形態：特定非営利活動法人(NPO 法人)とする
- ◆設置場所：現総合事務所内等
- ◆人事体制：①理事長(代表)：現まちづくり振興会等の会長を充てる(非常勤)
 - ②センター長：市職員を充てる。
 - ③市職員を出自：5 名程度(13 区それぞれに)
 - ④区在住者採用：2 名程度(任期付き採用)
 - ⑤その他：アドバイザーを配置
- ◆財源：①市の補助(助成)金 ②まちづくり振興会財産 ③ふるさと納税等

期待される効果

1. 市職員が積極的に地域づくりに関わる体制を整えることで、市民の熱意が醸成されることが期待できる。
2. 若者から高齢者まで、まちづくりへの関心を高めることが期待できる。
3. 地域ビジョンに基づき、地域づくりに向けた有効な施策の展開や価値ある投資が期待できるうえ、有効な事例等については、各区へ波及できる。
4. 地域づくり等のアイデア、意見等を机上、現場等を通じてスピード感を持って対応できる環境が整う。
5. SNS 等を積極的に活用し、今以上の独自の魅力発信に繋がられる。

10 本の政策(施策)の財源

行政の組織体制等の抜本的改革を断行し、時代に即した適正な組織機構を構築するとともに、組織改革等で生み出される 1 年で 10 億円程度の財源を主に基軸の政策に充てる。さらに、地方創生交付金、社会資本整備総合交付金、補助金、優良な市債等を有効活用し、総事業費を 1 年で 20 億円以上の規模にする。

R7.6 議会で財源確保策を提言

若年層等の定住・回帰!!

8 「奨学金返還制度」創設

R 元.9 議会で提言

高等教育(大学等)への進学の際に借り入れた奨学金の返還支援を行います。奨学金の返還者が当市に居住した場合、通算居住年数(10 年・20 年・30 年)により、最大全額返還し、移住・定住の促進を図ります。

成功へ導く具体策

- ◆返還比率：10 年経過で 3 割、20 年経過で 5 割、30 年経過で全額返還する。
- ◆奨学金返還対象者：市内外出身者。

期待される効果

1. 他市、他県からの移住・定住のきっかけにつながる。
2. 地域づくり等の貴重な戦力となり、にぎわいづくりにもつながる。
3. 人口減少の抑制につながり、福祉、地域づくり等、様々な分野への相乗効果が見込める。
4. 近くに子供がいることで、高齢者世帯の精神的安定や日常生活の安心感につながる。
5. 企業への人的貢献。
6. 当市の経済規模の縮小を極力抑えることにつながる。

買物がワンストップで!!

9 「買物郵便支援制度」創設

R3.9 議会で提言

今般、中山間地域はもとより中心市街地等でも高齢者世帯が増加しているうえ、運転免許証の返納は買い物弱者の増加に拍車をかけています。こうした状況に対処するべく、買物の困難な方々が自宅で様々な買い物ができ、安心して暮らせる環境へと導いていきます。

成功へ導く具体策

- ◆対象者
 1. 登録制とする。
 2. 世帯で運転者がいない、車保有のない世帯、戸建てでも別世帯で車保有のない世帯など。
- ◆委託団体
 1. 各種団体(未来創生スペシャルセンター等)、郵便局、衣食住関連の商店(登録制)
- ◆ポスト設置
 1. 概ね半径 500m 以内に
- ◆事業の流れ
 1. 対象者の注文書 → 郵便ポスト → 委託団体が取りまとめ、発注 → 近くの衣食住 関連の登録商店 → 対象者に届ける。

移住定住のねらい

青壮年・中高年齢層にとって、安心・安全でしかも魅力的な都市は、人生設計を立てるうえで重要な要素になり得ることから、選択肢の多い都市へとブラッシュアップする。

企業誘致

魅力創出・U/IJ ターン増へ!!

10 「企業誘致(含む。調査研究機関設置)」

R2.6 議会で提言

若年層等が都会から故郷(上越市)に帰りたいたいと思っても家族の生活や子供の教育費等、将来のことを考えると二の足を踏むことが統計資料から明らかになっているうえ、女性の転出者が多くなっています。女性や若年層の定住促進を図るうえで、魅力的な職場の確保はとても重要であることから積極的に企業誘致を推進すると同時に、企業動向等の調査研究を同時並行的に行い、企業誘致の成功率を高めていくことが重要です。

成功へ導く具体策

1. 円滑な企業誘致に結び付けるため、関連部署が一体かつ横断的に対応できる全庁的なプロジェクトチームを編成する。
2. 「企業の経営戦略・国際戦略」、「経済の流れ」等に対して、常にアンテナを張り、業界の動向を把握しつつ、先を見据えた企業誘致を積極的に推進する。
3. 社会経済環境の変化に伴い、企業が求める産業団地(広さ、形、立地位置)の確保をはじめ、IT 業界等で必要とされる、高速通信環境等が整った入居オフィス、必要とする土地や建物の整備に関して入念に調査し対策をたてる。
4. 若年層、女性の雇用の促進が図られるような企業誘致活動が大切であることから、長期ビジョンを策定し、戦略、戦術を練り上げる。



企業誘致のねらい

雇用の創出、人口減少の抑制、地域経済の発展、税収確保等に加え、当市の生活環境の良さなどを踏まえ、若年層等の定住・回帰や人材の確保を見据える。

実施体制

市の命運をかけた挑戦

直ちに、基軸となる10本の政策(施策)の プロジェクトチームを編成。と同時にプロジェクトJ推進本部を設置！

天地が与えてくれた恵みを尊び・活用し

市民が胸を張って誇れる郷に！！

歴史文化遺産等を活用し、たぐいまれなまちへ

- ◆「日本桜庭園・上越」を築きます。
- ◆「町家・雁木を活かしたまち」を築きます。
- ◆「オーシャン・ヒストリーロード」を築きます。
- ◆春日山城に上杉謙信公の遺構である居城の復元を実現します。
- ◆通年観光計画を抜本的に見直し、素材特性をいかした唯一無二の「真の観光立市上越」実現に向けた観光計画をつくります。
- 観光拠点施設(飲食、物産等)計画を見直します。(施設経営の観点から施設整備内容等について再検討し結論を出します。)

ママ・パパたちがエンジョイできるまちへ

- ◆「ママ・パパ子育て応援ハウス」を設立します。
- ◆子育ての悩みに寄り添う、こども家庭ソーシャルワーカーの配置を進めます。
- ◆養育費確保支援制度(養育費保証契約費用、養育費未払い回収費用)を創設します。
- ◆小学校の給食費が令和8年度に全国一律で無償化になった場合、中学校の給食費が無償化になるまでの間、中学校の給食費を全国平均並みに引き下げます。

子どもたちが健やかに成長できるまちへ

- ◆学校教育の課題・問題点を検証するとともに、教育研究機関を設置し時代に即した教育を推進します。
- ◆子どもが成長できる環境整備を推進します。(発達段階にふさわしい経験等が重要であり、意欲や豊かな心、家族の絆、親の役割等の正しい知識の普及。)
- ◆「子どもほっとライン」等の課題改善のため、関係者と連携を図り、いじめ等による不登校の減少に向け、適時適切に対応できる仕組みづくりを構築します。
- ◆学校教育現場において「囲碁・将棋」の普及を推進します。(思考力、集中力、構想力等、学業では得られない貴重な学びの機会を推進。)

若年層等の移住・定住と稼げるまちへ

- ◆「企業誘致」を強力に推進します。
- ◆「奨学金返還制度」を実現します。
- ◆「縁結びボランティアセンター」を設立します。
- ◆若者から高齢者まで幅広く楽しめるeスポーツなどの普及を推進します。
- ◆野球場の整備を検討します。(高校野球の公式大会が唯一上越地域で開催されていない)

農林水産業の「上越ブランド」の推進

- ◆上越米のブランディングの取組みを推進します。更に、中山間地域米の統一したブランド名の確立を目指します。
- ◆名声高き「くびき牛」のブランド価値の向上に向け、関係機関との連携を推進します。さらに上越ブランド肉(地鶏・豚)の新たな創出と生産者の育成を目指します。
- ◆当市の気候風土に根差した園芸作物の生産拡大、産地化の取組を支援します。
- ◆水産資源の安定確保に向け、新潟県水産海洋研究所等との連携強化を図ります。
- ◆森林保全の観点から、針葉樹(杉等)の需要を高めるべく、建築用等木材として技術開発に取り組んでいる企業等を支援します。さらに、広葉樹(カエデ樹液等)の潜在的資源を活用し、収益力の高い森林の造成に向け、適地適木の植栽を推進します。
- ◆農林水産物の国内・国外販売に向け、官民連携を強化します。

思いやりの福祉と老若男女が安心して住めるまちへ

- ◆13区に「未来創生スペシャルセンター」を設立します。
- ◆「買物郵便支援制度」を実現します。
- ◆障害のある方の就労支援体制等の充実に向け、支援ネットワークの強化を図ります。
- ◆福祉・介護サービスの更なる充実を目指します。
- ◆直ちに上越地域医療センター病院の改築に着手します。

いつまでも健康で活躍できるまちへ

- ◆人生100年！を目指した「健康長寿都市・上越」を制定します。
- ◆健康で長生きするための正しい知識の普及、健康体操等、官民連携を図りながら病気の予防・健康づくりを推進します。
- ◆コロナ禍以降、地域コミュニティの希薄化が危惧されています。「気軽にお茶のみ、談笑できる」などのふれあいスペースを町内会館等につくる場合、改装費を支援します。
- ◆生きがいと心身の健康維持を図るため、生涯学習等を推進します。

地域の特性を活かした産業の基盤づくり

- ◆日本社会に益々必要とされるバイオテクノロジー分野や脱炭素等の産業を当市に育てるべく、国県、企業、大学等と連携・協働して、調査研究等の機関設置を目指します。
- ◆上越魚沼地域振興快速道路の早期整備の促進に努めます。
- ◆保倉川放水路の早期事業着手に向け、関係機関への働きかけを強化します。
- ◆将来を見据えた工業団地の整備を推進します。
- ◆直江津港の利用促進に向け、戦略的な施策の構築に努めます。

防災体制の強化

- ◆儀明川ダム建設の本体工事の着手と同時に、高田市街地の流雪溝の整備に着手します。
- ◆自然災害が頻発していることから、理にかなった対策、市民への防災教育等、適時適切に防災計画の見直しを推進します。
- ◆柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関しては必要性を容認するものの、安全性の確保が大前提であることから、慎重な立場で対応します。

新たな都市づくり

- ◆高田エリアを「副都市核」として位置づけ、歴史文化の香りが漂う城下町として個性あるまちづくりを推進します。
- ◆直江津エリアを「副都市核」として位置づけ、歴史文化・海・夕日をキーワードに、香り漂う個性あるまちづくりを推進します。
- ◆上越妙高駅エリアを「新都市核」として位置づけ、研究開発機関等の拠点になり得る未来創生に向けた新たな魅力を興すまちづくりを推進します。

行政組織等の抜本的改革

- ◆肥大化した組織の抜本的改革を断行し、時代に即した適正な行政組織、組織運営を構築します。
- ◆地域自治区、地域協議会の抜本的改革を断行し、新たに実効性のある「未来創生政策委員会」をつくります。
- ◆「無駄はないか、公平公正であるか」の観点で、全事業を総点検します。

丸山 章

プロフィールほか

- ・市議会議員(3期目)、監査委員(議会三役)ほか、県立有恒高等学校卒業、上越市役所退職、清里村連合青年団長1年、中頸城郡連合青年団長2年(10ヶ町村)、旧菅原小学校PTA会長
- ・囲碁：日本棋院5段(第51回新潟県アマ囲碁入・昇段戦(新潟日報社主催)の4段戦で優勝。日本棋院5段免状を贈呈される。)
- ・家族：妻、子ども3人(娘2人、孫2人、父)
- ・住所：〒943-0512 上越市清里区馬屋777 TEL・FAX：025-528-3859 携帯電話：090-4724-0574 e-mail：amaru103@yahoo.co.jp ホームページ：丸山章を検索(今までの議会だより1号～17号掲載)

